

第2期函館市活性化総合戦略(2020~2024)の一部改訂について

1 「第1章 策定にあたっての考え方」内の項目追加 P.3

8 「函館市総合計画基本構想実施計画」との関係

第2期総合戦略は、「函館市総合計画基本構想実施計画」として位置付けています。

追加理由

本戦略を函館市総合計画基本構想実施計画として位置付けることを表記するため。

本市では、人口減少時代にあつて、市を挙げて取り組むべきまちづくりの指針である函館市総合計画基本構想(2017~2026)に基づき、優先的・重点的に取り組む具体的な事業等を盛り込んだ基本構想実施計画(2017~2020)を策定し、これまで各種取組を進めてきました。

このたび、本計画の期間満了に伴う次期計画の策定について検討したところ、本市において今後取り組むべき事業等を含めた施策がすべて第2期総合戦略に盛り込まれていることから、新たに計画を策定するのではなく、本戦略を次期計画として位置付けることとしたものです。

2 「基本目標1 市民一人ひとりの幸せを大切にします」内の
主な事業・K P I の追加 P.9~10

⑦ 教育環境の充実 <主な事業>

●道立小規模高校の入学者確保や地域に根ざした学校づくりに向けた支援

社会情勢や高等学校教育の状況を踏まえ、道立小規模高校の存続を図るため、北海道教育委員会と連携し、入学者確保や地域に根ざした学校づくりに向けた支援に取り組めます。

(3) K P I (重要業績評価指標)

No.	指 標	現状値	目標値	備考
11	南茅部高等学校入学者数	14人 (令和2年度)	20人 (令和6年度)	教育委員会

追加理由

入学者数が減少傾向にある北海道南茅部高等学校(道立小規模高校)の存続を図り、入学者確保や地域に根ざした学校づくりに向けた支援を行うため。

3 「基本目標3 快適で魅力あるまちづくりを進めます」内のK P I の変更 P.20

(3) K P I (重要業績評価指標)

No.	指 標	現状値	目標値	備考
7	縄文文化交流センター 入館者数(累計)	101,957人 (平成26~30年度)	40%増加 (令和2~6年度)	教育委員会
↓ 変更				
No.	指 標	現状値	目標値	備考
7	縄文文化交流センター 入館者数(累計)	101,957人 (平成26~30年度)	85%増加 (令和2~6年度)	教育委員会/効果 促進のあり方

変更理由

「縄文遺跡群の世界文化遺産登録による効果促進施策のあり方(令和2年10月)」における来場者数推計をK P I として設定するため。